

事務事業評価表

平成13年度	主要事業計画対象の有無	無	電話	042 (769) 8240
担当部課名	環境保全部	環境対策	課	
事務事業名	環境家計簿事業		事業コード	21120

1 総合計画における位置づけ

政策名	第1章	人と自然にやさしい地域社会をつくります	事業開始年度
基本施策名	第1節	地球環境の保全に向けた取り組み	13
施策名	第2施策	環境負荷の低減を進めるしくみづくり	年度

2 実施根拠及び関連法令等

相模原市環境基本条例、相模原市環境基本計画

3 事業概要

(1) 事業の目的		(2) 対象(誰、何)	
毎日の暮らしの中で、資源やエネルギーの無駄遣いなどの環境負荷を把握し、その低減に向けて、市民自らが点検、評価し、環境保全意識の高揚を図る。		資源、エネルギーを使用している市民	
		対象数	
(3) 平成13年度事業の内容		(4) 総合計画・実施計画における概要	
環境家計簿モデル事業の実施 橋本公民館、上溝公民館において、環境講座の一環として環境家計簿のモデル事業を行い、環境家計簿作成時の参考とした。 目指せ、省エネの達人(環境家計簿相模原市版)の作成 1,000部作成		なし	
		(5) 個別計画の概要	
		計画名 相模原市環境基本計画	
		計画年次 13年度～ 年度	
		環境家計簿の作成・普及	

4 評価指標

指標名	モデル事業における環境家計簿記入者率		
指標式	延べ環境家計簿記入者数14/延べ環境講座参加者数30×100		
指標設定の意図	仮作成の環境家計簿に実際に記入してもらい、使いやすく、わかりやすい環境家計簿作成のための参考とした。		

5 目標と実績

〔金額単位：千円〕

	平成11年度	平成12年度	平成13年度(評価対象年度)		平成14年度
	実績	実績	実績	目標	目標
指標			a 47	b 100	100
指標			c	d	
指標			e	f	
事業費	決算(予算)額		266	623	0
	人員・時間数		60時間	60時間	60時間
	人件費		251	251	251
	その他経費				
	合計	0	517	874	251
特定財源					

6 個別評価

(1)達成度…目標をどれだけ達成したか			
評価 B ▼	A:達成している (100%)	= 、 、 の平均値 = 46.7%	
	B:一部達成していない(100%> 80%)		
	C:達成していない (80%>)		
$\frac{a}{b}$	$\frac{46.7}{100.0} \times 100 = 46.7\%$	$\frac{c}{d}$	$\times 100 =$
$\frac{e}{f}$	$\times 100 =$		
理由:	環境家計簿は、1ヶ月で結果が分かるものではなく、最低でも半年は経過を見ないと省エネになっているのか判断できないために、毎月忘れずに記帳しなければならないということがある。		

(2)必要性…時代変化に適応した事業内容か			
評価 A ▼	A:適応している	理由:	毎日の暮らしの中で、資源・エネルギーの環境負荷を把握し、その低減に向けて点検・評価する事業であり、時代に適応している。
	B:一部適応していない		
	C:適応していない		

(3)経済性・効率性…費用対効果は妥当か			
評価 A ▼	A:妥当である	理由:	経費は、環境家計簿(目指せ、省エネの達人)に係る印刷製本費と人件費だけであり、妥当である。
	B:一部妥当でない		
	C:妥当でない		

(4)事業の代替性…県、民間との役割分担のあり方から見て、市が実施していくことが適当か			
評価 A ▼	A:代替の可能性ない	理由:	身近なところから環境保全活動の普及、啓発を進めていくためには、市が実施していくことが適当である。
	B:代替の可能性低い		
	C:代替の可能性高い		

(5)市民満足度…対象市民の満足は得られているか			
評価 A ▼	A:満足できる	理由:	モデル事業を通じて市民の意見を聴きながら、使いやすく、わかりやすい環境家計簿の作成を心がけた。
	B:一部満足できない		
	C:満足できない		

(6)有効性…当該事業は上位の施策を実現する上で有効か			
評価 A ▼	A:有効である	理由:	資源・エネルギーの環境負荷の低減に向けて、市民が実感として受け止められるところから始めるものであり、上位の施策を実現する上で有効である。
	B:一部有効である		
	C:有効でない		

<p>評価バランスチャート</p>	<p>成果向上の余地</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> ある</p> <p><input type="checkbox"/> ない</p> <p>説明: 市民が環境家計簿を気軽に活用できるよう、いかに普及させていくかが求められている。</p>
	<p>コスト改善余地</p> <p><input type="checkbox"/> ある</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> ない</p> <p>説明: 相模原市版環境家計簿の作成は終了したので、コストは人件費だけである。</p>

7 総合評価

評価	AA ▼	他自治体の類似事業との比較	県内では、横須賀市、平塚市、鎌倉市、秦野市、座間市などが環境家計簿事業を実施している。
今後の進め方		説明	本事業は平成13年度から始めた事業であり、相模原市版環境家計簿の作成は終了したので、これを市民に気軽に活用してもらえようPRしていくことが必要である。
<input checked="" type="checkbox"/>	継続		
<input type="checkbox"/>	見直し		
<input type="checkbox"/>	廃止		
<input type="checkbox"/>	完了		

8 二次評価における変更点

--